

外来診療担当表

診療科	受付		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内科	午前	8:45 ～ 11:30	大窪 愛香	佐藤 良一	竹森 繁	塙 晴雄 糖尿病の治療 大澤 妙子 第1、第3、第5 木	塙 晴雄
	午後	13:45 ～ 15:45				佐藤 良一	女性アスリート外来 森川 香子 (15:30～17:30) 第2金 予約制
脳神経 内科	午前	予 約 制	小池 亮子	もの忘れ診療 今村 徹 (再来のみ)	大津 裕	もの忘れ診療 今村 徹 (新患のみ)	
整形外科	午前	8:45 ～ 11:30	山本 智章 菊池 達哉 受付8:30～	大森 豪 前田 圭祐	菊池 達哉	山本 智章 渡部 和敏 受付8:30～	菊池 達哉 前田 圭祐
	午後	15:30 ～ 17:30	スポーツ傷害治療 (膝・足) 大森 豪		受付14:30～ スポーツ傷害治療 第1水 (膝) 谷藤 理 第3水 (肩) 望月 友晴 スポーツ傷害治療 (全般) 山本 智章		スポーツ傷害治療 (全般) 第1、3、5 菊池 達哉
			スポーツ傷害治療 (全般) 前田 圭祐		スポーツ傷害治療 (全般) 第2、4 山本 智章		
			骨粗鬆症の診療 高橋 榮明 山本 智章 (13:30～15:00) 予約制		慢性腰痛・せぼねの 変形の治療 渡邊 慶 第4火 予約制		
リハビリ テーション科	午前	予 約 制	眞田 菜緒	小股 整	眞田 菜緒	崎村 陽子	小股 整
歯科 歯科口 腔外科	午前	予 約 制	今井 信行	今井 信行	佐藤 尚子	今井 信行	今井 信行
	午後		今井 信行	今井 信行	佐藤 尚子	今井 信行	今井 信行

ご予約・お問い合わせ

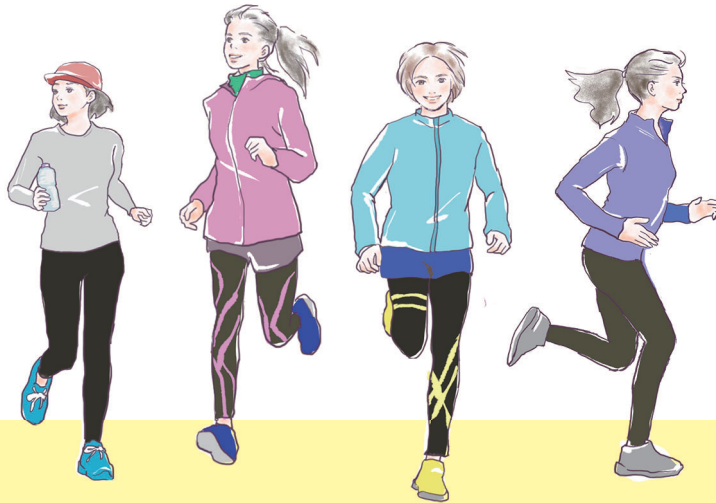
- 予約センター TEL 025-388-2116
- 歯科予約 TEL 025-388-2124
- 医療相談 TEL 025-388-2120

広報誌

歩み

2023
MARCH

3月



女性アスリート外来のご案内

様々な競技に取り組んでいる女性アスリートの皆さん。女性特有の症状やそれにより結果を出せずに悩んでいませんか？当外来ではそんな女性をサポートします。

女性アスリートとはスポーツに取り組む女性であり、そのレベルは問いません（プロから全国大会レベル、部活動レベル、趣味など）。性成熟期の方に限らず出産後、更年期など全てのライフステージの女性が対象になる外来です。

女性の一生は、思春期→性成熟期（妊娠・出産）→更年期（閉経期）→老年期と女性ホルモンの変化とともにあります。

特に性成熟期の方は月経との有無とコンディション調整で悩みが多い時期かとおもいます。「月経が辛いのは当たり前、試合や記録会の日に月経があたるのは仕方がない。」と諦めてはいけません。日頃から月経をコントロールすることや一時的に月経移動をさせることでコンディション調整もできます。実は月経による貧血が原因で記録がのびないのかもしれないかもしれません。月経の悩みを放置することで将来の妊娠出産に影響する場合があります。

「月経来ないけど楽しいいや。」という考えも誤りです。女性の骨密度は女性ホルモンのサポートを受けて20代前半までに人生で最大骨量となります。そこからは、骨量は増えることはなく、閉経後に骨密度は低下していきます。若年のうちから無月経を放置しておくと、骨密度低下により競技中にケガをしやすくなりますし、そのまま中高年になり転倒・骨折・寝たきりなんてことになりかねません。

今はスポーツが一番優先だからまあいいかと思っていると、それが次のライフステージに影響してきてしまうのが女性です。気になることがあれば、まずはご相談ください。

ご予約

●予約センター

TEL 025-388-2116
(受付時間 平日 9:00～17:00)

●担当医師

森川 香子（新潟市民病院 産婦人科）

●診療日

毎月第2金曜日 15:30～17:30



ロボット支援人工膝関節置換術のご紹介

「ロボットを使って手術をします。」と聞いたら皆さんはどのような手術を想像するでしょうか。メスを握ったロボットが手術を進めていく、そんな光景が頭に浮かぶ人もいるかもしれません。

当院では2021年から手術支援ロボットNAVO（Smith&Nephew社製）を導入し、2022年3月からは次世代機器のCORIを用いて人工膝関節置換術を行っています。しかしロボットが自動的に手術をするわけではありません。人工膝関節置換手術は膝の傷んだ軟骨や変形した骨を切除して人工関節に置き換えてくる手術ですが、人工関節の土台となる骨を正確に切除することが重要です。ここでロボットが活躍します。赤外線を用いて骨の形や位置をロボットに読み込ませると、ロボットは1mm・1°以内の正確性で空間を認識して切除する骨の

量や角度を判断し誘導してくれます。これにより人工関節をより正確に設置することが可能となります。

そしてロボットが助けてくれることは他にもあります。歩く時に体重をかけても膝が安定しているためには膝周りの靱帯などの軟部組織のバランスが保たれてい

る必要があります。しかし軟部組織のバランスは一人一人異なっており、変形した骨を切除した後の状態は手術中にし

かわかりません。ロボットを使うことにより手術中に軟部組織のバランスを考慮した位置に人工関節を設置することができ

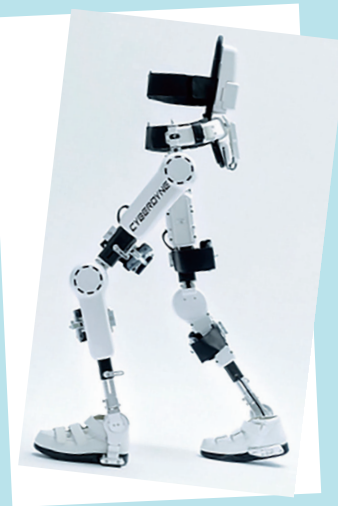


●担当医師
土方 啓生（整形外科）

脳神経内科で

ロボットスーツ？

新潟リハビリテーション病院では、月曜日、水曜日の週2回、脳神経内科一般外来診療を行っています。脳神経内科は脳や脊髄、末梢神経、筋肉の病気を診る内科です。これらの病気の症状としては、頭痛、めまい、体のしびれ、力が弱くなった、歩きにくい、ふらつく、手足がつっぱる、けいれん、むせる、しゃべりにくい、ものが二重に見える、手足がふるえる、ものわすれ、意識障害など、たくさんあります。このような症状が出たときは、脳神経内科で、どのような性質の病気であるかを見極めることが大切です。



また当院ではパーキンソン病や、脊髄小脳変性症、筋ジストロフィーなどの脳神経系や筋肉の難病に対する専門的な医療やリハビリテーションにも力を入れています。このうち神経・筋の8疾患を対象に、ロボットスーツHALを用いた歩行訓練を実施しています。HALは、身体に装着し、最新の技術を用いて生体信号を感じて歩行動作を支援すると共に、脳神経と筋肉の再学習を促進して筋力の改善を図るもので、当院で実施した患者さんでも歩行機能と筋力の改善が確認されています。医療用のHALを導入している病院は新潟県内で当院を含めて2施設のみです。HALによるリハビリの対象となるかどうかは、病気の種類や体の状態で異なりますので、ご希望される場合はお問い合わせください。



●担当医師
小池 亮子（脳神経内科）

ロボットスーツHALによるリハビリテーション

下記疾患は、保険適用にてロボットスーツHALを用いてのリハビリを行うことが可能です。

- 脊髄性筋萎縮症
- 球脊髄性筋萎縮症
- 筋萎縮性側索硬化症（ALS）
- シャルコー・マリー・トゥース病
- 遠位型ミオパチー
- 封入体筋炎
- 先天性ミオパチー
- 筋ジストロフィー

『あたまの健康チェック®』
受けてみませんか？

従来の認知症チェックではない、エビデンスに基づく国際的に評価の高い健康な方のための認知機能スケール。健康な今から「認知機能の見える化」で状況把握、リスク管理をしませんか？



ご予約 新潟リハビリテーション病院 健康管理センター
TEL. 025-388-3301



今なら無料体験中♪ 是非この機会に理想のカラダを手に入れましょう！
春の入会金半額キャンペーン実施中!!

理学療法士やアスレティックトレーナー・健康運動指導士などの専門スタッフがメディカルチェックを行い、おひとりお一人に合わせた運動プログラムを作成して運動の仕方を丁寧にお伝えします。（運動がはじめて…、痩せたい…、痛みがある…など、どなたでも大丈夫です。）

お問い合わせ TEL. 025-368-7500